

パブリックコメントの結果

「おおい町人口ビジョン(令和6年度版)(案)」及び「第3次おおい町未来創生戦略(案)」について、1名の方から1件のご意見が寄せられました。

寄せられた意見の概要と町の考え方は、以下のとおりです。

案 件	おおい町人口ビジョン(令和6年度版)(案) 第3次おおい町未来創生戦略(案)		
募集期間	令和7年3月11日(火)から18日(火)までの8日間		
意見の件数 (意見提出者数)	1件 (1人)		
意見の取扱い	修正	案を修正するもの	—
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	—
	参考	案には反映できないが今後の参考とするもの	1件
	その他	案には反映できないが意見として伺ったもの	—

意見の概要	考え方
<p>【内容】 個人等の自立につながるような施策として、目指すべき将来像に「食の自立」、町民個人等の食糧自給率を高める支援を追加してほしい。</p> <p>【理由】 おおい町では、農業や漁業などの一次産業が盛んなこともあり、各家庭で自家消費される農水産物などが多いため、地産地消での食の自立が進んでいる結果、高い食糧自給率や、豊かな食文化が根付いている。しかしながら、今後高齢化等により、このような食の自立や地域文化が失われてしまわないように、以下を提案する。</p> <p>○おおい町の特性を活かした体験・交流の充実(農林水産課による一次産業体験事業)</p> <p>○町民の食糧自給率の現状と町内で自給できる食を調査し、町民が安定的に確保でき</p>	<p>第3次おおい町未来創生戦略の「目指すべき将来像」は、5年間で目指すまちづくりの姿を簡潔に表すスローガンであり、いただいたご意見をこれに反映することはできませんが、本町としても食糧の地産地消を含めて人や物が地域内に循環する仕組みをつくることで町の持続可能性を高める上で重要であると考えているため、今後本戦略に基づいて実施していく個別事業の中で地域の食糧自給の促進等につながる支援等について検討させていただきます。</p> <p>また、「第3次おおい町食育・地産地消推進計画」(計画期間令和5年度から令和9年度)では、食糧自給率の向上や地域の伝統的な食文化の継承等につながる食育・地産地消について、個人や家庭をはじめ、地域のさまざまな主体と連携、協力しながら推進していくこととしております。同計画で</p>

<p>るように町民が自ら「食の自立」（食糧自給率を向上）できるよう支援※</p> <p>※農業従事者を増やす施策に限定せず、家庭菜園や町民参加型の野菜・米・穀物栽培、魚介類の漁を通じて、おおい町の資源を町民が直接得られる仕組みを構築する、町民が週末や空いた時間に一次産業に参加できる機会を設ける 等</p> <p>例：プランターを使ったトマトやハーブ栽培への補助、耕作放棄地を希望町民に開放、個人養鶏支援、山菜やキノコ狩り支援、漁場の開放 等</p>	<p>は、「食文化を知り、実践する」を基本目標の1つに掲げ、「体験活動を通じて「食」への関心を育てる」ため、【農林水産業に触れる・体験できる機会の創出】を図っていくこととしていることから、ご提案いただいたおおい町の特性を活かした一次産業体験・交流の充実等について、同計画において実施する具体的取組を検討する中で、法規制や権利関係等も考慮の上参考にさせていただきます。</p>
---	---